

平成 30 年 12 月 17 日
こども家庭部子育て支援課

平成 30 年度 学校応援団サポート講座「ねりまチャージ」の実施について

学校応援団（ねりっこクラブのスタッフ含む）の活動をサポートするため、東京学芸大こども未来研究所への委託のもと、下記 8 講座を実施した。

記

1 実施回数・参加実績

全 8 講座 延べ 387 名（1 回平均 約 48 名）の参加を得た。

2 各回の実施状況

	日程	講座名	講師	会場	内容	参加数
1	6月5日 (火)	地域が子どもを見守ることの意義	田嶋 大樹 (東京学芸大学特命助教)	ココネリ 3階研修室 1	現代の子どもにまつわる課題にも触れながら、地域の大人が子どもに関わることの重要性を学びます。	15校 29名
2	6月22日 (金)	知っておきたい子どものケガや症状、その対処	荒川 雅子 (東京学芸大学講師)	石神井庁舎 5階第2・3会議室	実際に放課後の現場で起こりうるケガや症状への対処について、実技も交えながら、学びます。	26校 57名
3	7月9日 (月)	季節の工作・飾りつけ	本間 由佳 (明星大学助教)	ココネリ 3階研修室 1	季節にちなんだ工作・飾り付けを、紹介・体験することで、子どもとともに楽しむ指導のポイントを学びます。	29校 71名
4	9月12日 (水)	低学年から参加できる科学実験遊び	山田 修平 (淑徳大学短期大学部講師)	光が丘区民 ホール 集会室1	安心・安全・簡単な材料でできる科学実験遊びを体験します。科学や実験に苦手意識がある大人も子どもも楽しめるものばかりです。実施する際のポイントについても学びます。	16校 34名
5	9月27日 (木)	気になる子どもたちへの関わり方	木村 翔太 (東京学芸大学附属世田谷小学校教諭)	石神井公園 区民交流センター 第1会議室	集団の中で少し気になる子どもの特性を学び、地域の大人ができる支援の仕方を学びます。	30校 64名
6	10月4日 (木)	元気いっぱい遊ぶ子どもを目指して～アクティブ・チャイルド・プログラムの活用～	佐藤 善人 (東京学芸大学准教授)	ココネリ 3階研修室 1	現代の子どもたちの生活習慣の現状や体力・運動能力の二極化の問題を知り、運動が苦手な子どもも大人も楽しめる運動遊び（アクティブ・チャイルド・プログラム）を体験します。	17校 32名
7	10月23日 (火)	学校応援団のコミュニケーション術	小林 正幸 (東京学芸大学教授)	石神井庁舎 5階第1会議室	保護者との関わりやスタッフ同士の連携など、支援者として子どもを支援するためのより良い関係づくりを学びます。	28校 53名
8	11月7日 (木)	学校図書館の活用	對崎 奈美子 (公益社団法人全国学校図書館協議会参与)	ココネリ 3階研修室 1	次期学習指導要領の概要から、学校図書館の果たす役割について学びます。読書離れが進む現在の子どもたちのリアルな姿やその理由を知り、読み聞かせなどを例に、本の楽しさを伝えるためにできることを学びます。	24校 47名